



# Weekly report

例会日 第一・第三木曜 12:20-13:30  
 事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄1-22-16ミナミ栄ビル402  
 例会場 TEL 052-253-7821/FAX 052-253-7820  
 ホテルナゴヤキャッスルホテル TEL 052-521-2121  
 〒451-8551 名古屋市中区栄1-22-16



District 2760  
Nagoya Miyanomori Japan

## 第47回例会

2018年11月1日(木)

司会進行 鈴木達央 会場運営委員  
 「君が代」斉唱、「四つのテスト」唱和

### 会長挨拶

奥村 与幸 会長



皆さん、こんにちは。今日は、視点を変えた職業奉仕のお話をします。今日のお話は、ロータリーの経験の長い先輩方には、恐らく有名な方だと思いますが、深川純一さんと言う伊丹ロータリークラブに所属される方で、第268地区のガバナーや地区大会RI会長代理を8回も務められた方のお話を引用させていただきました。

今日のお話の主人公は、ハーバード・テイラー氏です。この方は、1954-55年度RI会長を務められた方で、「四つのテスト(The 4-Way Test)」の創案者です。まずは、「四つのテスト」から始めていきます。「四つのテスト」=「The 4-Way Test」、なにか変だと思いませんか？何故、Testが単数なのでしょう？「Test」ではなく「Tests」なのでは？でも、実は単数であることが、ロータリーのこだわりのようです。四つのテストを1つずつクリアすればよいのではなく、四つのテストを一つの基準として、全てを一括でクリアしなければならぬことを示しているのが単数としているそうです。

始めに、以前お話した、シェルドン氏が提唱した「最も奉仕する者、最も多く報いられる」=「He profits most who serves best」でも解るように、日本語だけの解釈では本来の意味を理解しづらいこともあるので、今回も英語からのアプローチをしたいと思えます。

「四つのテスト」

・「真実かどうか？」=「Is it the truth?」

これは、英語=日本語ですね。

・「みんなに公平か？」=「Is it fair to all concerned?」

これは日本語では「concerned」の訳が抜けています。「concern」=「心配」「利害関係」「会社」なので、この場合は「取引先」と考えるのだと思います。すると「全ての取引先に対して公正かどうか？」というのが詳しい意味ではないのでしょうか。

・「好意と友情を深めるか？」=「Will it build goodwill and better friendship?」

これは、英語=日本語のように思えるのですが、「goodwill」=単なる「好意」ではなく、商取引における「信用」と訳し「その商取引が、店の信用を高め、取引先との良い人間関係を築けるのか？」と訳したらわかりやすいと思うのですが。

・「みんなのためになるかどうか？」=「Will it be beneficial to all concerned?」  
 これは、これまでの3つのテストと異なり、英語=日本語ではないように思います。それは、「beneficial」→「benefit」=「利益」「儲け」です。従って「全ての取引先の利益になるのか？」と訳すのでは？と考えます。ここでも、近江商人の「三方よし」と考えても良いかもしれませんが、しかし、原語である英語では、ロータリアンは「profit」・「benefit」=「儲け」「利益」をよく使うと思いませんか。以上が四つのテストについてでした。

ここからは、ハーバード・テイラー氏のエピソードです。ハーバード・テイラーは、1932年に倒産したアルミ食器会社の再建を引き受けた際に、社内に「四つのテスト」を示して、企業活動を行い、約10年後には、一流の企業に育てたそうです。その後、彼が1954年にRI会長に就任した時に、その著作権がロータリーに譲渡され、世界各国で翻訳、活用されて今日に至っています。そこで、アルミ食器会社でのエピソードを紹介いたします。

その前に、私の会社は小さなテレビ局であり、キャスター・アナウンサー、テレビカメラを扱う人材などで構成する収録・編成制作を行う部門があります。ここから先のパワーポイントは、その編成制作部門出身の社員が作ってくれました。

ある日、ハーバード・テイラーは、印刷会社と契約をしました。ところが、印刷会社社員は会社へ帰ってから、自分の計算ミスによって、この契約では大変な損をすることに気がつきました。今更、契約変更を申し込める筋合いのことはありませんが、このまま損をすることがわかっていながら、良い仕事ができる自信もありません。そこで、印刷会社社員は、「断られてもやむなし」と考えながらも、契約のやり直しを申し入れました。ハーバード・テイラーは、「なるほど、それは気の毒なことだ。しかし、契約が済んでしまった案件なので、自分一人では決めない。取締役会に付議しよう。」と印刷会社に社員に伝えました。取締役会では、「この契約は、印刷会社の提示価格で契約した。契約は適正であり、契約価格に間違いがあったか否かは、当社の関知しないところである。従って、契約は守ってもべきである。」との意見が大勢を占めました。しかし、ハーバード・テイラーは、「我々は、四つのテストを誓い合っている。」「この契約の真実とは何か？この契約は、相手の真実の意思に基づいたものではない。このことが、公平な契約といえるのか？当社の信用を高め、取引先との良好な人間関係を築くことになるのか？全ての取引先の利益に繋がるのか？」との論法で取締役会メンバーを説得しました。そして、印刷会社が損をしない程度の契約価格で再契約をしました。このことが、口コミで広がり、ハーバード・テイラーの会社への信用が確立しテイラーの会社との取引を望む会社が増えていきました。これは、「自分が儲けるために、取引先を泣かせてはならないこと」「利益は、全ての取引先に適正に分配されるもの」の実践例とのことであり、その結果として、ハーバード・テイラーの

アルミ食器会社は利益を上げ、一流企業になったのです。通常であれば、以上「めでたし、めでたし」でお話を終えるのですが、この話を進める中で私は、なぜか「すっきり」としないものを感じるのです。それは、長期的にこの取引先である印刷会社のことを考えると、本当に相手のためになったのか？との疑問が生じるからです。なぜかと言うと、「契約は商行為の重要な行為」であるはず。その「重要な契約を間違えた」で済ませてよいのか。これでは「同じ間違いを繰り返す」のではないのか。仮に、配慮するとしても、まずはこの結果を受け止めてもらい、次の取引で配慮したほうが良いのではないかと考えるからです。皆さんは、どう考えますか？

以上で、本日の会長挨拶といたします。本日もご清聴頂き有難うございました。

出席報告		浅野慎之 出席委員長	
	会員数	出席数	出席率
当日(11/1)	46	35	76.1%
前回(10/18)	46	29	63.0%
	会員数	修正出席数	修正出席率
前回(10/18)	46	46	100.0%

### ニコボックス報告

浅野慎之 出席委員長

本日、財団の卓話で伺いました。宜しくお願ひ申し上げます。  
**地区ロータリー財団補助金委員会 委員 名古屋名東RC 藤野直子 様**

10月26日でスイート10を迎えました。妻に感謝致します。  
**高橋勝之**

本日23回目の結婚記念日です。妻に感謝です。  
**高木俊郎 野村治 不破直行 遠山堯郎**

明日、子どものB.D.6才になります。  
**長男が剣道2段合格しました。**

RCC委員会でお世話になりました。  
**11月になりました。1年過ぎるの早いですね！！**

**高木勝**

WFF大盛況でしたね。おめでとうございます。西三河中分区のうずら卵といちご羊羹おいしかったです！  
**大谷まさみ**

WFF盛況でよかったです。  
**水野紀孝**

ロータリー財団 藤野さんをお迎えて。  
**奥村与幸**

藤野さんをお迎えて!!  
 そして鈴木委員長いつもお世話になっております。  
**鈴木拓将**

これからもよろしくお願ひ致します。  
 10月6日に母が69歳で亡くなりました。3連休でもあったので、家族葬でした。前回の定例会、欠席してすみませんでした。  
**堀場和孝**

バッチ忘れました!!  
**加藤謙一**

10月・11月のブライダルシーズン体につけてのりきります。  
**永田聡子**

第47回例会を祝して  
**浅野信 出口茂 権田淳裕 長谷川裕一 樋口昌男**

**河合秀紀 清訓芳 牧野敬充 大野将義 佐野洋一郎 鈴木達央 田中吉彦 山下智己**

R情報委員会より報告 近藤大輔 R情報委員  
 ~「ロータリーの友」おすすめページ~

【P4~8】「児童虐待の実情」

日本でも保護されるべき子供が保護されていない、と書かれており、その中でもP71下部の「虐待は男性、父親によるもの、というのが一般的ですが、虐待を行う当事者は現在、母親が主なのです。」という部分が一番印象的でした。そこで、ロータリアンに期待されることは「社会的相続を行う組織であってほしい、社会的相続とは、日本の伝統文化、地域が育んできた文化を子どもたちに継承していくこと」

とあります。また、本冊子には記載されておりませんが子ども食堂というものが国内に2,000箇所以上あります。子どもに食事や触れ合う場を提供している施設ですが、当社も支援しております。皆さまにもそのような場があることを知っていただければと思います。



### 幹事報告

鈴木拓将 幹事

●11月ロータリーレート 1\$ = 112円

●先週末WFFが開催されました。参加された方ありがとうございました。

●来週末11/10(土)・11(日)に地区大会、一泊研修会が行われます。10日(土)18時より蒲郡の小城(こしろ)にて宴会を行います。宴会場、ホテルの詳細は事務局よりメールにてご案内申し上げます。

●1/31(木)職場見学の出欠回答期日が昨日となっております。未回答の方はご回答お願ひ申し上げます。

●本日例会後に第5回定例理事会が開催されます。

●次回例会11/15(木)12:20~13:30@ホテルナゴヤキャッスル1階「シャンボールの間」。例会後は第3回クラブアッセンブリーを開催する予定です。

### 卓話「ロータリー財団 今、やるべきこと」

地区ロータリー財団補助金委員会 委員 藤野直子氏



皆様、改めましてこんにちは。本日は貴重なお時間に卓話させて頂き、高い席からではございますが感謝申し上げます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

本日は「ロータリー財団、今やるべきこと」と題してお話しますが、まずはDVDをご覧ください。

(DVD上映)

今、ご覧頂いたDVDは皆様にポリオのことをご理解いただく為のものですが、実はロータリーが作成したのではなく、ユニセフとWHOがロータリーに感謝する為に作成したものでございます。私はそのことにとっても大きな意味があると思えます。DVDにもあったようにポリオワーカーが遠くの紛争地域へポリオワクチンを届ける為に

